



ベトナム経済及び市場の最新動向

～ ベトナム市場進出に関する検討用資料～

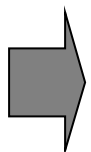
SCS Global Holdings, Pte. Ltd.

株式会社ピー・アンド・イー・ディレクションズ

2012年4月

Strictly Confidential





I. ベトナム市場の現状と今後の成長性

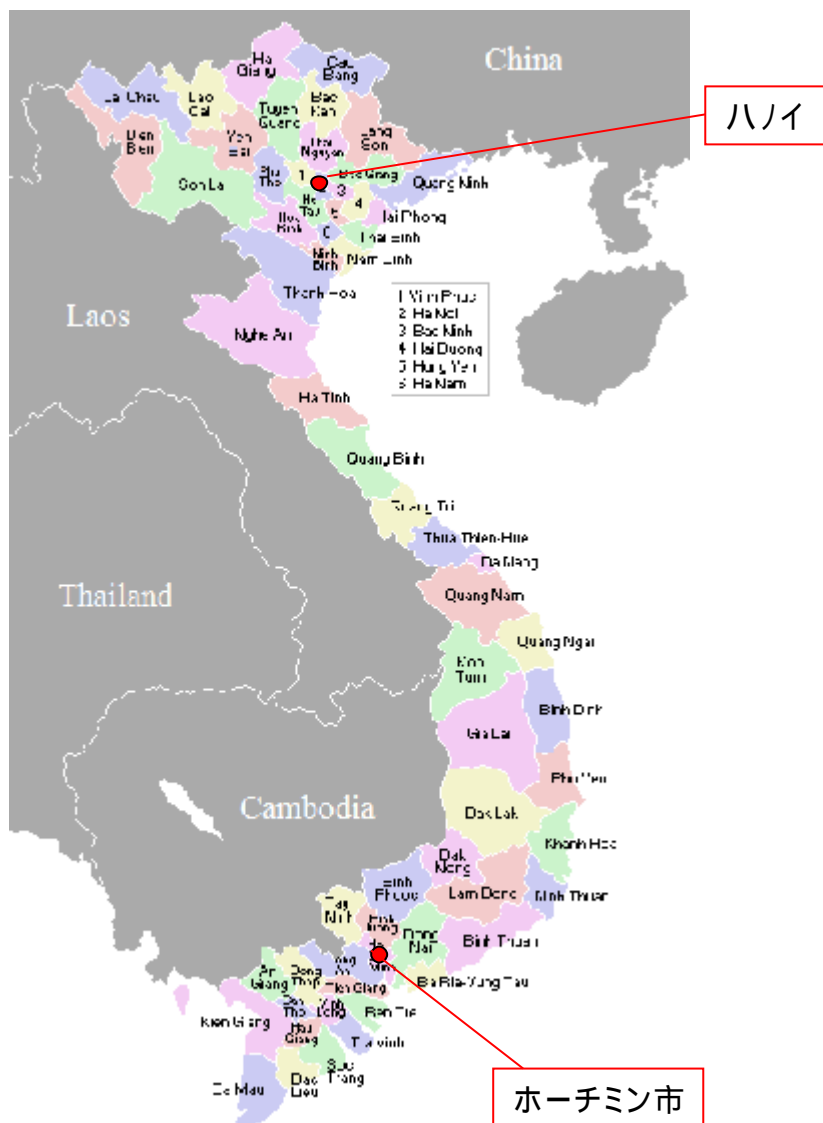
II. ベトナム進出の魅力と難しさ

- i. 生産拠点としてのベトナム進出
- ii. 消費マーケットとしてのベトナム進出
- iii. ベトナムへの進出方法

III. SCS Global / P&E Directionsのご紹介



ベトナムの概要

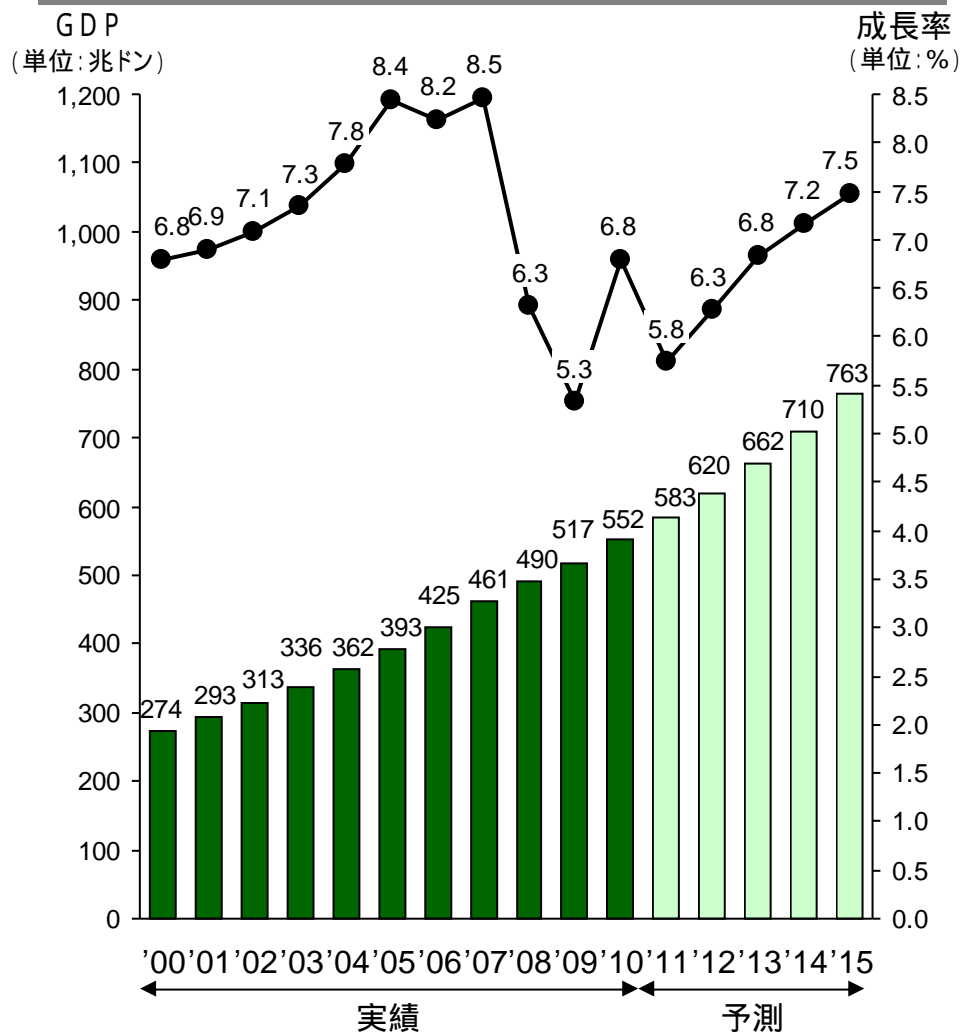


面積	331,689km ²
人口	8,693万人(2010年) - 出所: ベトナム統計総局(GSO))
首都	ハノイ(人口645万人)
政体	社会主義共和国(ベトナム共産党による一党体制)
行政構造	5市58省から構成 - 北部地域2市23省、中部地域1市18省、南部地域2市17省
GDP	名目GDP: 1,040億米ドル(2010年) - 出所: 世界銀行
通貨	ベトナムドン(Dong: VDN) 1,000ドン=4円(2012年3月現在)
言語	ベトナム語(ほかに少数民族語)
宗教	仏教が約80% - そのほかにカトリック、カオダイ教、ホアハオ教など
税制	法人税率(実効): 25% - 事業内容や設立地域に応じて、優遇税率が適用される場合がある
教育	成人識字率93%。 - 義務教育は小学校までの5年間。その後は中学校4年間、高校3年間、大学4年間
気候	全体として熱帯モンスーン気候 - ハノイ1月気温14~19、8月26~32 - 南北に細長い国土のため、同じ時期でも地域によって気候は大きく異なる
カントリーリスク	S&P信用格付け: BB - (自国通貨/外貨建て)

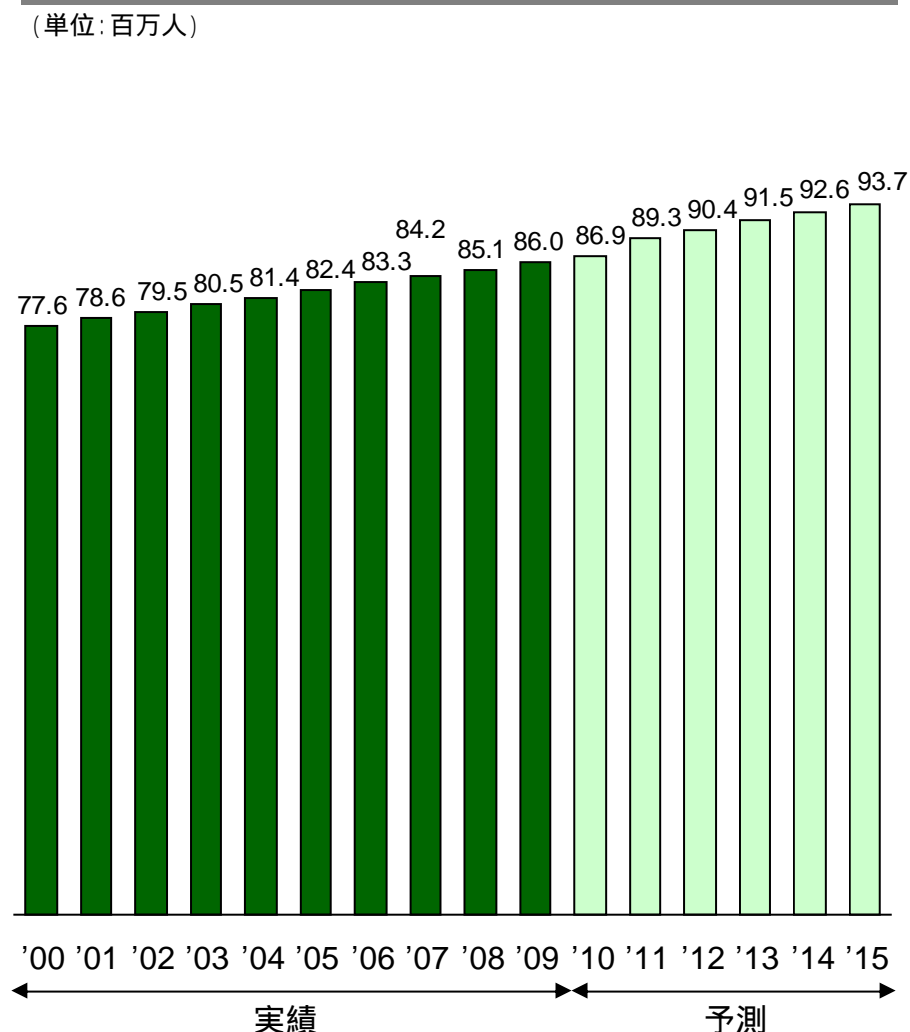
出所: Jetro資料

ベトナムは持続的な経済成長が予測されている

実質GDPの推移



人口の推移



出所: IMF's World Economic Outlook Database, Sep. 2011 Edition

ベトナム政府は対外開放・自由化を進めている

ベトナムのこれまでの基本政策

年代	これまでの基本政策
'70年代	<ul style="list-style-type: none"> 1976年 ■ ベトナム社会主義共和国成立 <ul style="list-style-type: none"> - 南ベトナムを含め、社会主義国家建設方針を打ち出す 1979年 ■ 「新経済政策」の導入 <ul style="list-style-type: none"> - 部分的自由化の実施による経済改革を推進
	<ul style="list-style-type: none"> 1986年 ■ ドイモイ(刷新)政策を採択 <ul style="list-style-type: none"> - 計画経済から市場経済への移行を志向 - 1987年以降、産業自由化、国営企業改革、金融制度改革、外国投資法法案を実施
'90年代	<ul style="list-style-type: none"> 1995年 ■ ASEAN加盟、WTO加盟申請 1996年 ■ AFTA加盟 1998年 ■ APEC加盟
	<ul style="list-style-type: none"> 2000年 ■ 米越通商協定締結 2003年 ■ 日越投資協定締結 2006年 ■ 「共通投資法」、「統一企業法」施行 <ul style="list-style-type: none"> - 国内外の企業・投資家を対等に扱うことを基本原則とする
'00年代	<ul style="list-style-type: none"> 2007年 ■ WTO加盟 <ul style="list-style-type: none"> - 経済のグローバル化加速 2009年 ■ 流通・小売の外資100%参入自由化 <ul style="list-style-type: none"> - 但し、規制は残存

現在政府が掲げている目標

目標 第9次5年計画 (2011~2015)

- 平均GDP成長率:7%~8%
- 一人当たりGDP:2015年までに2,100ドルに引き上げ
 - 参考:2010年 1,200ドル
- 輸出:年平均で12%増加させる

戦略 新10カ年国家戦略 (2011~2020年)

- 市場経済制度の整備
- 平等な競争環境の創出
- 人材の育成
- インフラ整備
- 工業国化
- 1人当たりGDPの増加
 - 2020年までに3,000~3,200ドルに引き上げ

出所:国際協力銀行「ベトナムの投資環境」

I. ベトナム市場の現状と今後の成長性

II. ベトナム進出の魅力と難しさ

i. 生産拠点としてのベトナム進出

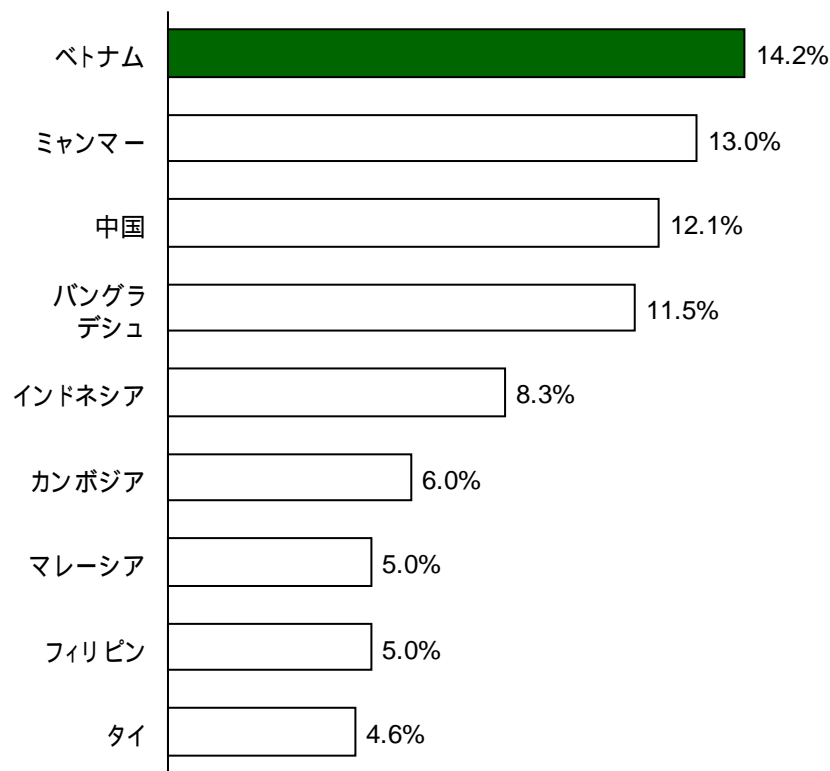
ii. 消費マーケットとしてのベトナム進出

iii. ベトナムへの進出方法

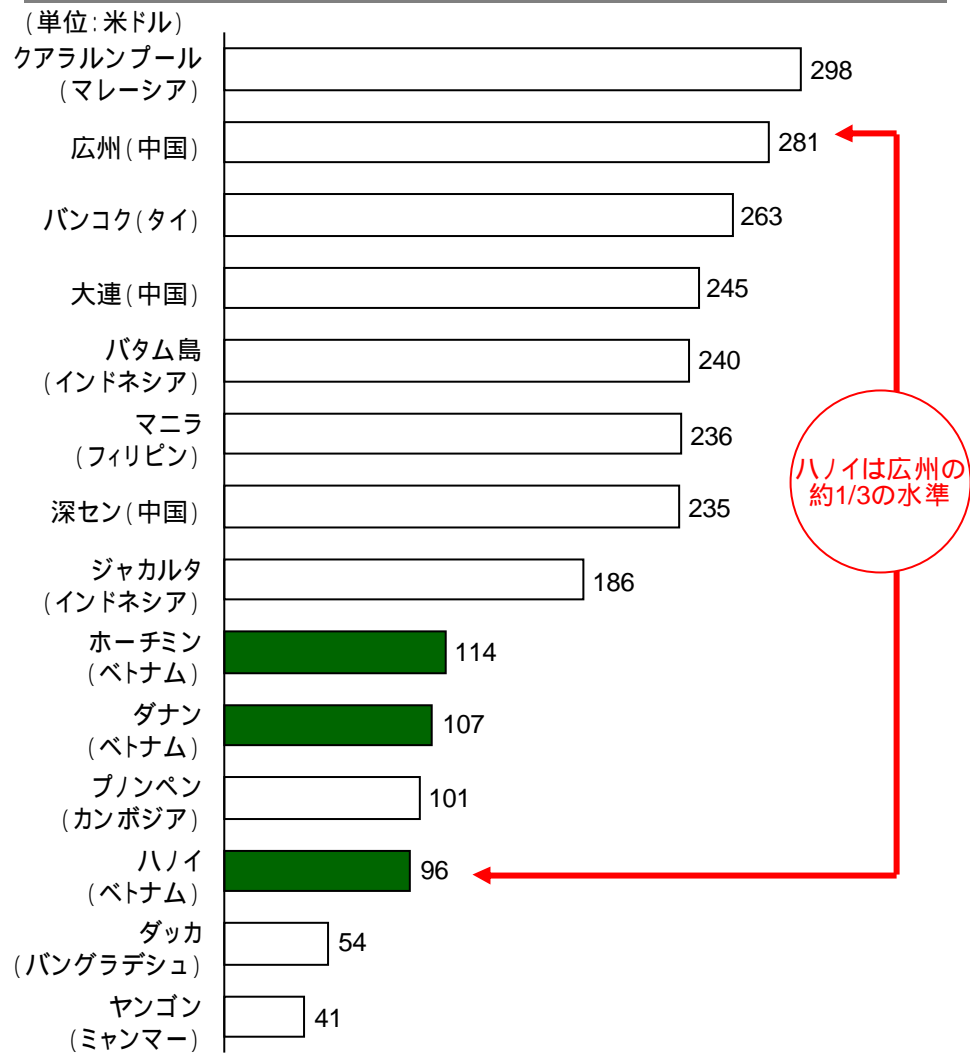
III. SCS Global / P&E Directionsのご紹介

近年のベトナムの賃金上昇率は高いが、絶対水準は中国の半分以下

アジア諸国における日系企業の人件費上昇率
(2009年~2010年)



アジア諸国の主要都市のワーカー(一般職工)の月額賃金
(2011年)



但し、日本企業の場合、円高ドン安の影響で人件費高騰によるコスト高が軽減されている側面もある

出所: JETRO「在アジア・カセアニア日系企業活動実質調査(2010)」、JETRO

中国と比べ、ベトナムは政治的・社会的に安定している

カントリーリスクの比較*

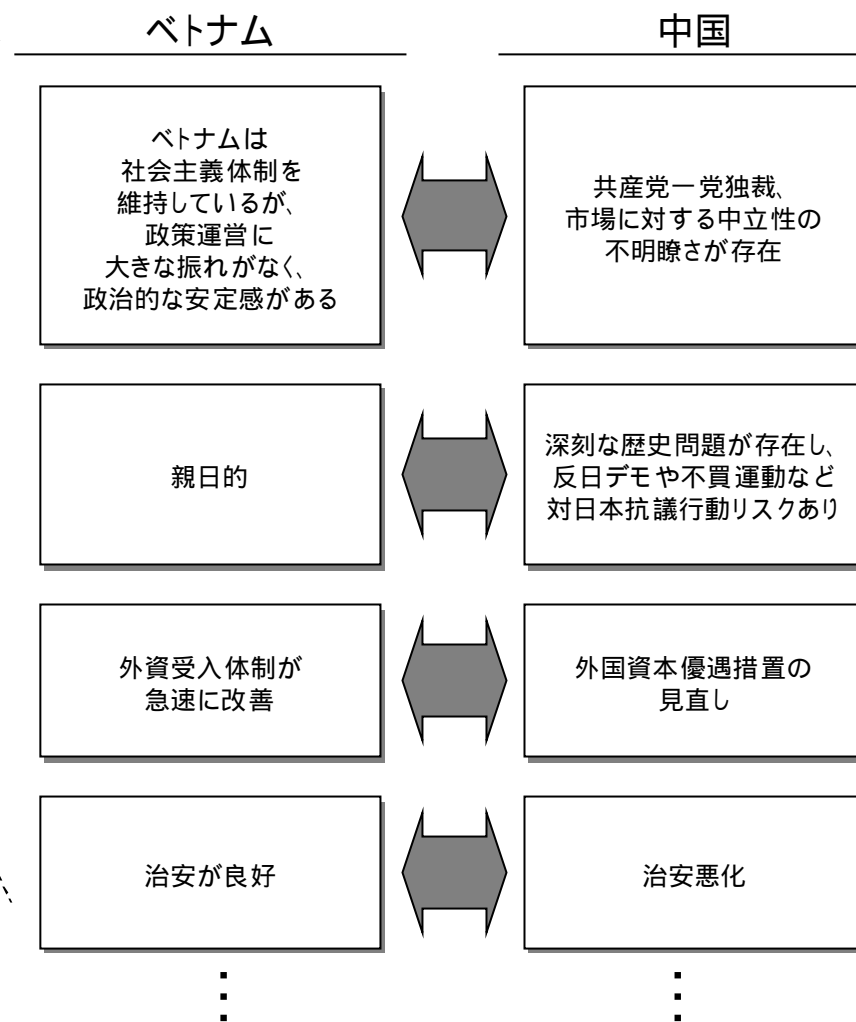
- カントリーリスクとは：
 - 海外投融資や貿易に関して、相手国の政策変更、政治・社会・経済環境の変化により債務の返済、投資の回収ができなくなるリスク

国名	政策の継続性が保たれない可能性	内乱、暴動、テロ、疾病等の危険性
ベトナム	2.7	2.2
中国	3.2	4.3
インド	2.8	4.8
インドネシア	3.5	4.0
先進工業国の平均	2.1	1.1

*数値の意味合い:

7.0 ↑ 極めて不十分
 5.0 ↑ 不十分である
 3.0 ↑ ほどほどである
 1.0 ↓ それなりに評価できる
 ↓ 評価できる

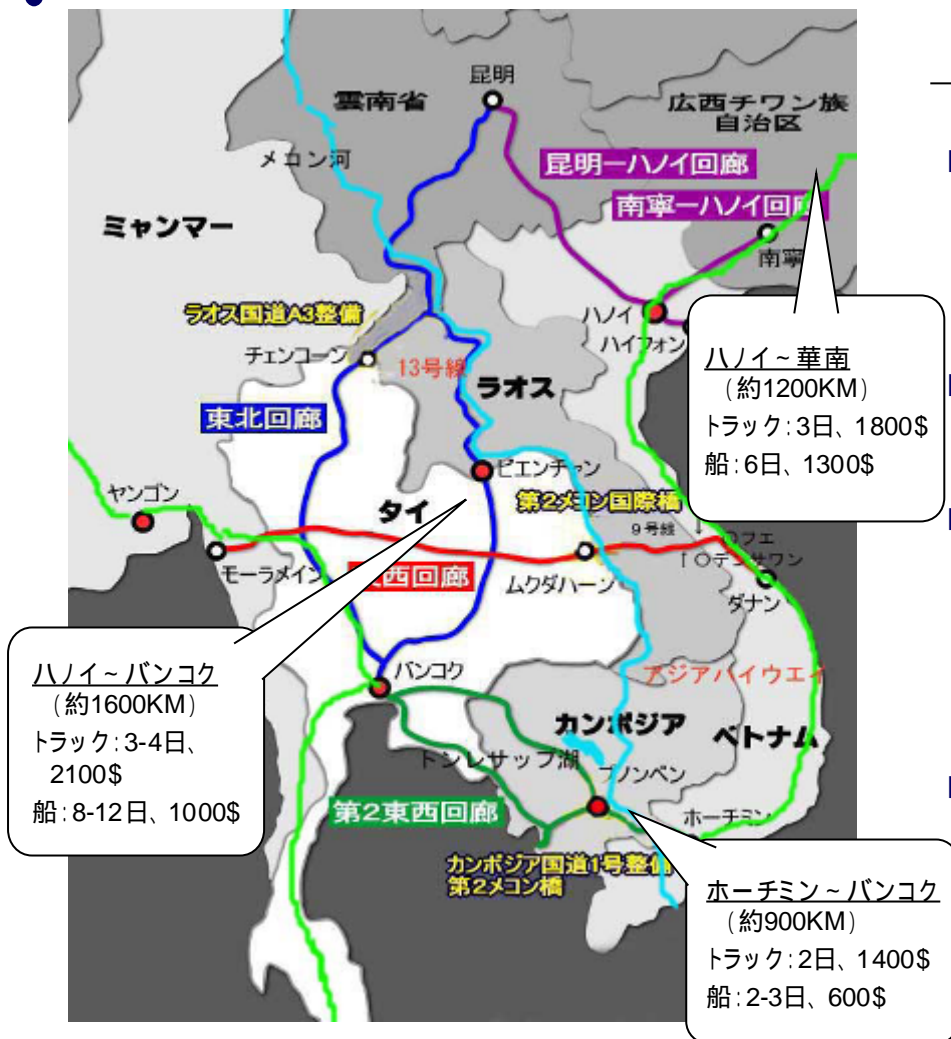
ベトナムと中国の政治・社会体制の違い



出所: 格付投資情報センター「R&I カントリーリスク調査」

ベトナムはインドシナ半島の中心に位置し、中国・メコンデルタ各国へのアクセスが非常に良好

ベトナムと中国・メコンデルタ各国との道路ネットワーク



- **東西回廊(2006年開通)**
 - ダナン~モーラマイン(ミャンマー)間の約1,500kmを結ぶ
 - トラック利用でハノイ~バンコクは3~4日(\$2,100)
 - ・ 参考: 船利用の場合8~12日間(\$1,000)
- **第2東西回廊(2009年開通)**
 - ホーチミンからカンボジアを経てバンコクを結ぶ(950km)
- **昆明 - ハノイ回廊、南寧 - ハノイ回廊(2005年開通)**
 - 産業の集積する中国華南地域、市場として成長する中国南西部市場への連結
 - 昆明 - ハノイ回廊: 昆明~ハノイ間の約750kmを結ぶ
 - 南寧 - ハノイ回廊: 南寧~ハノイ間の約350kmを結ぶ
- **南北回廊(2009年開通)**
 - 昆明~バンコク間の約2,000kmを結ぶ
 - ベトナムから東西回廊を経由してラオスにも直結

出所: JETRO、日系物流企業資料
*ベトナム、タイ、ミャンマー、ラオス、カンボジア

- ハノイ/ホーチミンとASEAN主要都市は飛行機で3時間以内(2,000km以内)
- ハノイから中国国境まで車で約2時間(約200km)

I. ベトナム市場の現状と今後の成長性

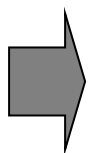
II. ベトナム進出の魅力と難しさ

i. 生産拠点としてのベトナム進出

ii. 消費マーケットとしてのベトナム進出

iii. ベトナムへの進出方法

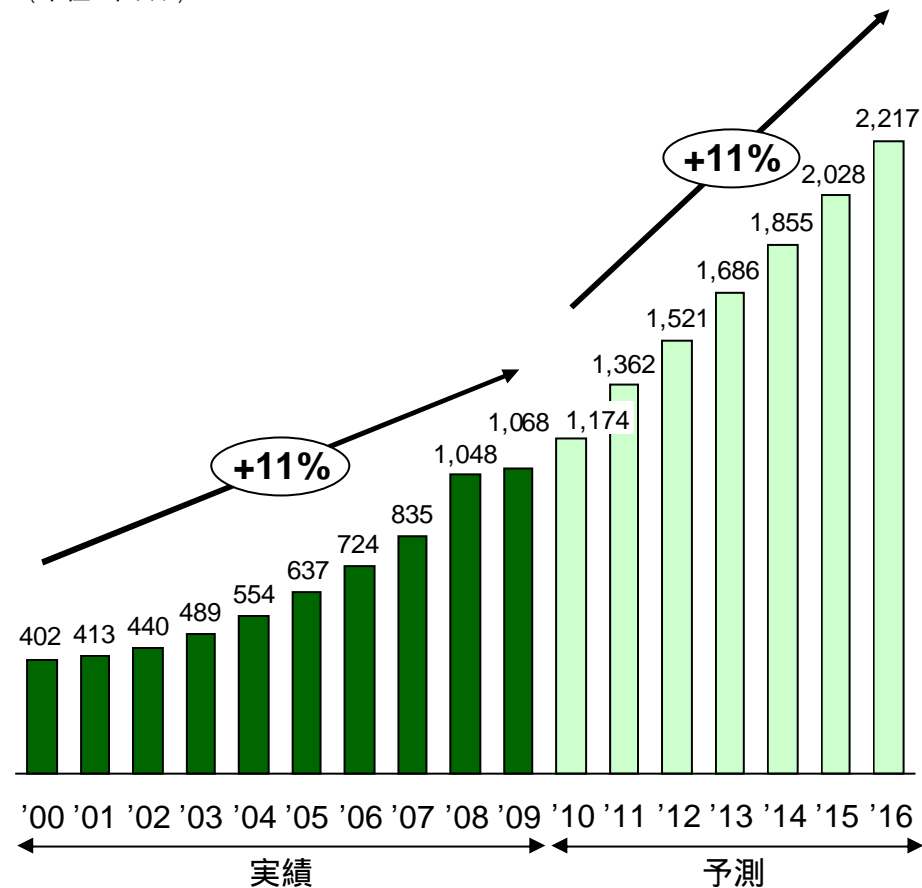
III. SCS Global / P&E Directionsのご紹介



ベトナムの購買力は着実に上昇している

ベトナムの一人当たりGDPの推移

(単位:米ドル)

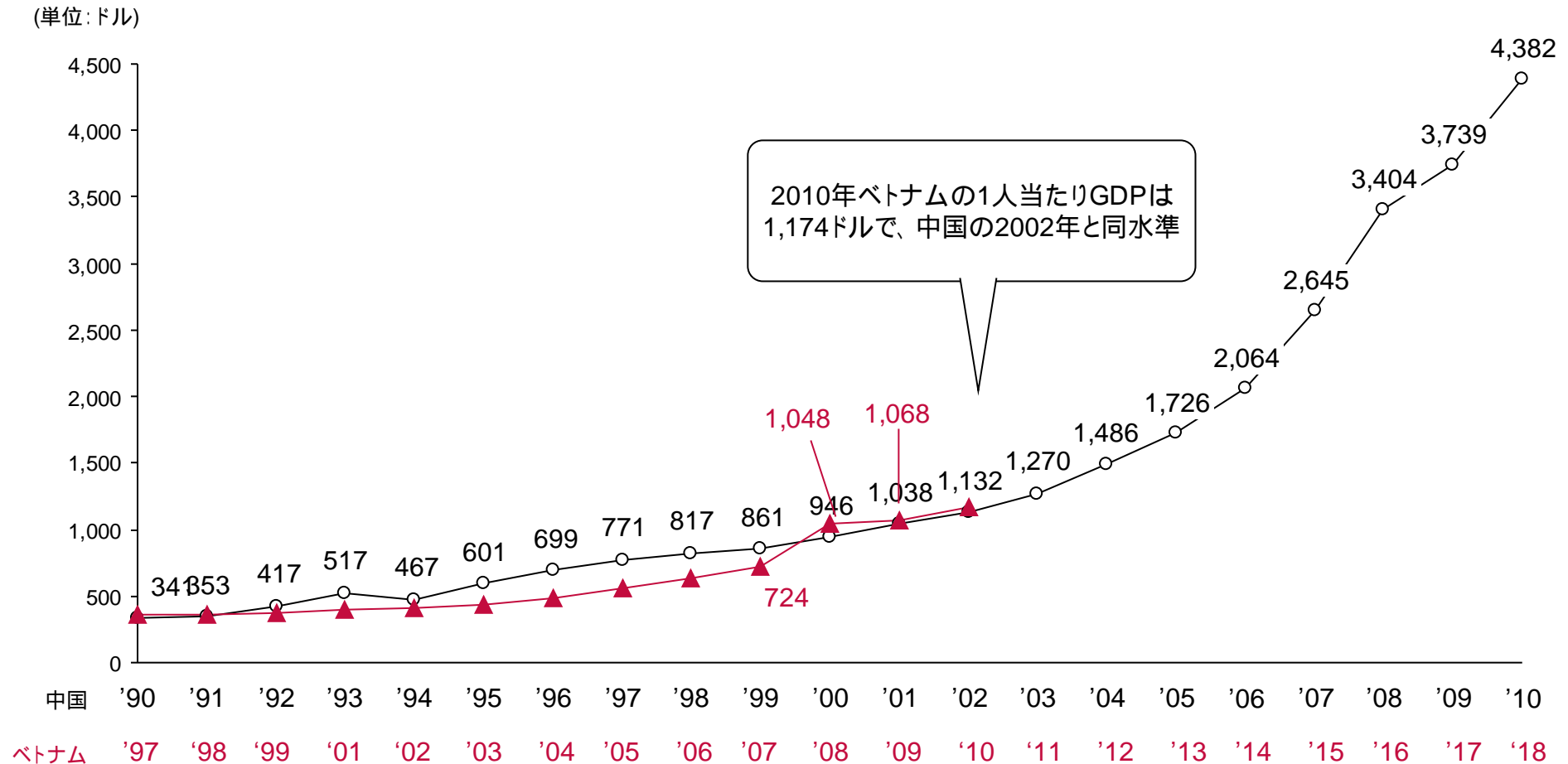


中間所得層は着実に拡大し、2011年に世界銀行より
「中所得国」と認定された

出所: IMF「World Economic
Outlook Database,
September 2011」、

ベトナムの2010年の1人当たりGDPは中国の2002年の水準

中国・ベトナムの一人当たりGDPの推移



先行き10年で大きく増加すると見込まれる

出所: IMF「World Economic Outlook Database, September 2011」

ベトナムの近代的チャネルの様子

百貨店



コンビニ



スーパー
マーケット
及び
ハイパー
マーケット



免責事項

本資料は当社で作成した資料の抄録版です。本資料は公表情報に基づいて作成しており、正確性・最新性など一切の事項に関して当社が保証をするものではありません。

また当資料に掲載している情報によって万一閲覧者が損害を被ったとしても当社は一切の責任を負いません。